

アピール

福島復興と原発再稼働を許さないたたかいをつよめよう！

～福島新署名を軸に旺盛にとりくもう！～

2017年5月10日
原発をなくす全国連絡会

福島第一原発事故から6年が過ぎ、今年3月に避難準備区域が避難解除となり、住宅支援、賠償打ち切りなどが強行されました。国と東京電力は、さまざまな理由をあげて、責任をみとめず、賠償についても誠実に向き合わない態度のままです。

今回の今村復興大臣の「被害が東北地方でよかった」発言はまさにそのあらわれです。人数が少ないから被害を受けても被害額が少なく済むからよかったという事であり、東北に住む者の気持ちを踏みにじるものです。

また経済産業省は2016年12月、東京電力福島第一原発の処理費用の見積りを21.5兆円と倍増させました。廃炉の見込みも立たない中、この数字はさらに増えるはずですが、しかも、「電力消費者は過去に原発に対して支払うべき費用があった」という理屈をひねり出し、すべての電力利用者の料金に「過去分」の2.4兆円を上乗せしようとしています。

事故の原因究明も責任追及も被災者への補償もおおざりなまま、膨らみ続ける費用を国民負担とし、それでも再稼働する、こんな政策がまかり通すわけにはいきません。

いっぽうで「原発被害者損害賠償請求・前橋地裁判決」において、福島第一原発事故の国と東京電力の責任がはじめて司法の場で認められました。この判決を力に、国と東京電力に福島第一原発事故の責任があることを全面に押し出したとりくみをつよめましょう。

当面のとりくみの強化点

①ふくしま新署名50万筆をやりぬきましょう。

- ・福島を切り捨て政治を許さないたたかいと、原発ゼロ、原発を再稼働させないたたかいを結びつけ、各団体目標をもって、ふくしま新署名50万筆をやりぬきましょう。
- ・6月7日の署名提出行動にふくしま新署名50万筆を積み上げます。
- ・そのために、加盟団体を構成するすべての人たちから署名をあつめましょう。
- ・当面の署名の集約は5月末とします。6/7の署名提出行動時にお持ちください。

②各地・各団体で旺盛に宣伝・署名行動を行いましょう

- ・各地、各団体のとりくみをニュースで交流します。各地、各団体のとりくみ写真や記事をお寄せください。
- ・署名推進にむけ署名グッズを無料でお送りします。送料のみご負担ください。

③ふくしまの今を伝えるとりくみを強化します。

- ・原発立地県や各地の主要県への福島キャラバンを再開します。

以上